



1回目の授業研究会を行いました

6月10日（金）、秋田県教育庁南教育事務所と南教育事務所仙北出張所の指導主事の方々をお迎えして、本校にとって今年度1回目の授業研究会を開催しました。

今回授業を公開してくれたのは1年C組の国語と3年C組の英語でした。全教職員が2グループに分かれそれぞれの授業を参観し、生徒一人一人が「わかる・できる・いかす」を実感できる授業の進め方について協議しながら、私たち教職員も学年・教科の枠を超えて学び合いました。

本校では今年度も全ての教科の授業をとおして、次のような生徒に育つように研究を進めています。

- ①学習課題を自分のものとして受け止め、主体的に学んでいく生徒
- ②他者の考えに触れながら、伝え合ったり議論したりしながら対話的に学んでいく生徒
- ③「わかる・できる」ことを自分の言葉で表現し、学びを「いかし」広げ深められる生徒

1年C組の国語の授業では、「伝えたいことを明らかにするために、説明の仕方や順序についてグループで助言し合い、説明文を書くための構成メモを作る」というゴールに向けて、仲間と協力して学び合う生徒の姿が見られました。

3年C組の英語は、角館についての英語の俳句を作り、作ったときの自分の気持ちや作った理由を互いに伝え合うという授業でした。また、タブレットを有効に活用する生徒の姿が印象的でした。

指導主事の方々からは、生徒と教師、生徒間の関係性のよさについて賞賛の言葉をいただきました。1年C組、3年C組のみなさん、ありがとうございました!!

本校では今年度も、全学年の数学、英語、理科の時間で複数の教員が指導を担当するティーム・ティーチングにも取り組んでいます。複数の教員が役割分担をしながら生徒一人一人の興味・関心、習熟状況に対応した指導を行うことにより、各教科の基礎的・基本的な内容の確実な習得を図ることと、個々の生徒の考えを丁寧に取り上げながら進める授業を目指しています。

郡総体壮行式を開催しました

6月14日（火）、郡総体に挑む選手を激励するために壮行式を開催しました。

今回の壮行式は、生徒会執行部、文化部、応援団や有志の生徒が、企画・準備・運営の全てを担ってくれました。最後の各部主将による「くす玉割り」も見事に大成功、選手たちの心に火がともりました。仲間の熱い声援に後押しされ、城南健児たちはきっとやってくれるはずです。

ご多用中にもかかわらず、会場に駆けつけ激励くださった藤村 裕 P T A会長様を始めとするご家族の皆様ありがとうございます。

“城南旋風” 響き渡れ

6月17日（金）・18日（土）[野球は19日まで]、大曲仙北中学校総合体育大会が郡内各会場で開催されます。

3年生のみなさんにとっては、中学校に入学以来続くコロナ禍で、様々な制限や制約がある中でここまで続けてきた部活動です。これまで支えてくださった方々や、積み重ねてきた力を試し合える場を準備してくださるたくさんの方々に対する感謝の気持ちを胸に、県・東北・全国へと続くスタートの大会に果敢に挑んでほしいと思います。

また、みなさんと力を試し合う相手も、同じように苦難の時を乗り越えてきたはず。そのような相手に、試合前・試合中・試合後も互いに敬意を示すということを忘れないでください。

壮行式で話した、オリンピックがどのような時に「ゾーン（超集中状態）に入れたのか？」について紙面でも紹介しますので、参考にしてみてください。

どちらも試合前のことになります。

- ①試合直前まで最善の準備ができた時
- ②自分や自分たちでコントロールできることだけに集中できた時

チャンピオン・シップですので、必ず勝敗がつきます。選手のみなさんには、結果に関わらず、今の自分を、自分たちを“出し切ったという満足の笑顔”で学校へ帰ってきてほしいと思います。ご家族の皆様には、選手たちが最善の準備を整えて試合に臨めるよう、これまでどおりのご支援をお願いいたします。